

○財務書類公表の背景

岐南町ではこれまで、内部管理強化と外部へのわかりやすい財務情報の開示を目的として財務書類（財務4表）の作成及び公表を行ってきました。財務書類の作成については、これまで総務省から示された方式のうち「総務省方式改訂モデル」を採用して作成していましたが、総務省からの要請に従い、他団体との比較を容易とし、固定資産台帳の整備及び複式簿記の導入を目的として新たに示された「統一的な基準モデル」を導入し、平成28年度決算より「統一的な基準モデル」により作成された財務書類を公表するものです。

○財務4表の概要

1. 貸借対照表（バランスシート）

- ・資産、負債、純資産といった財政状態を一覧で表示するものです。
- ・資産は将来世代が享受するであろう便益、負債は将来世代が負うであろう負担、純資産は世代間負担の衡平性の指標となり得ます。

2. 行政コスト計算書（損益計算書）

- ・人件費、物件費などコストの投入状況を確認することができます。
- ・経常費用から経常収益を引いた純経常コストが、地方公共団体の提供したサービスに対する直接的に収入では賄いきれなかったコストであり、税や国県からの補助金などにより賄われることとなります。

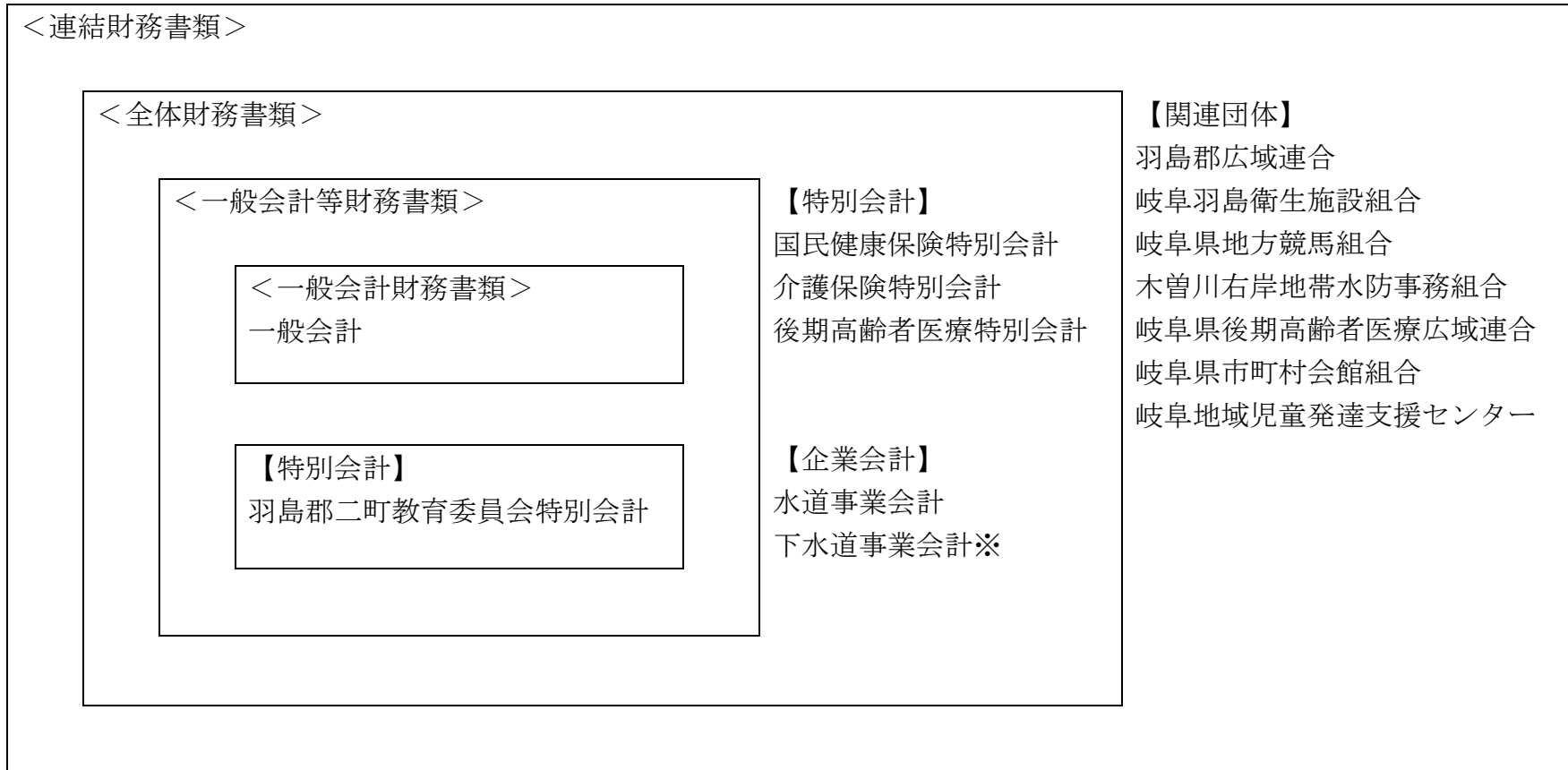
3. 純資産変動計算書

- ・純経常コストを補う収入が示されます。最終的に、期末の純資産残高がプラスであれば、純経常コストを上回っているため、財政が健全的に活動されたといえます。

4. 資金収支計算書（キャッシュフロー計算書）

- ・業務活動収支の部からは通常の行政活動による資金収支の状況が示され、投資活動収支の部に投じた額で積極的投資を行っているのか事業の縮小を行っているのか、資産を多く売却しているのかがわかり、財務活動収支の部で借入返済を行っているのかなどがわかります。

○対象範囲



※下水道事業は令和2年度から地方公営企業法適用（令和元年度決算まで特別会計）

○財務4表構成の相互関係

